

道路事業

うつのみやふにゆうたかとく かんのんばし
主要地方道 宇都宮船生高徳線 観音橋工区
 (平成27 (2015) 年3月 供用)

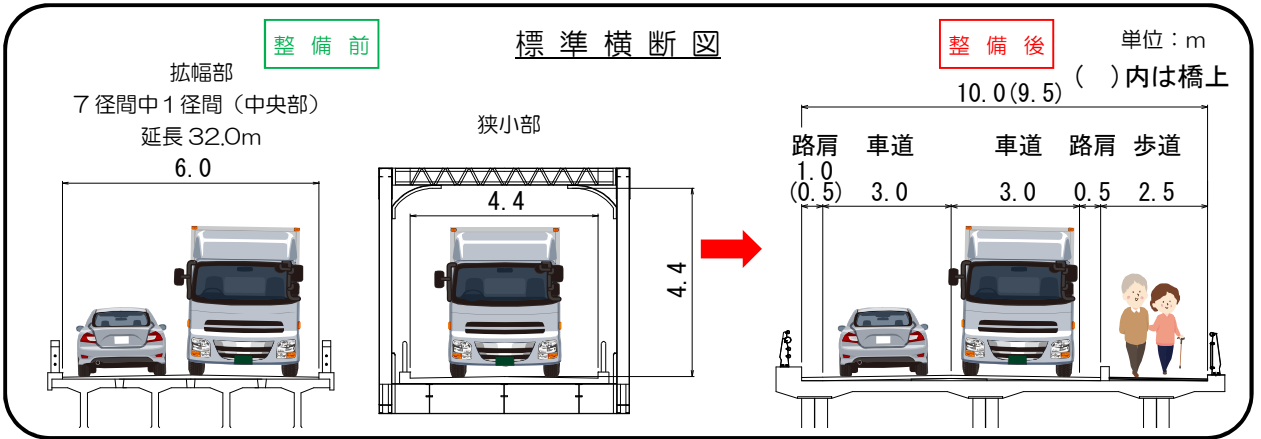
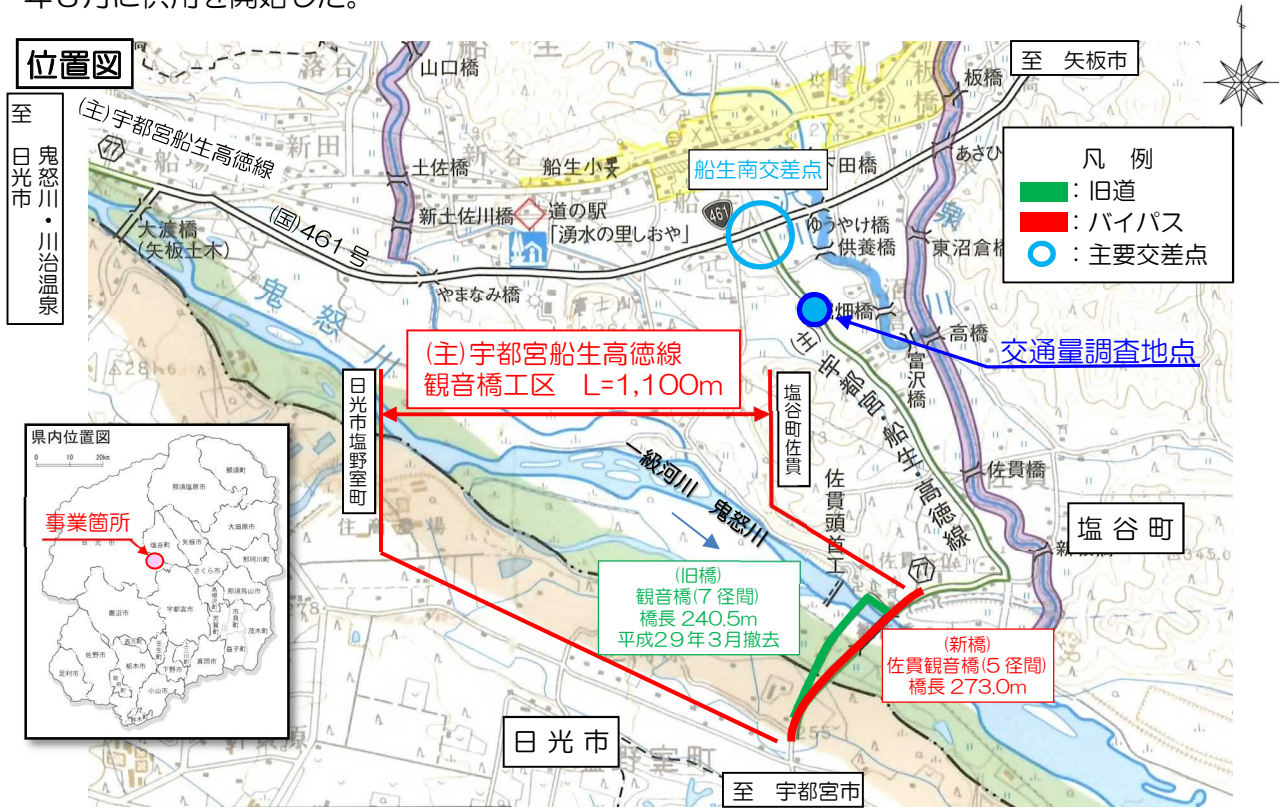
1. 事業概要

主要地方道宇都宮船生高徳線は、国道119号の宇都宮市石那田地区を起点とし、塩谷町船生を經由して鬼怒川・川治温泉方面に至る幹線道路であるとともに、地域住民の日常生活を支える重要な道路である。

本工区に位置し、鬼怒川を渡河する観音橋は、橋の一部が幅員4.4mと狭く、車のすれ違いが困難であり、歩道もないため、歩行者や車両の安全で円滑な通行に支障をきたしていた。

さらに、昭和29年の完成から60年以上経過しており、老朽化による耐久性や大地震や洪水などの異常時における安全確保についても課題があった。

このため、栃木県では、安全・安心で快適な通行の確保、地域間連携の強化及び産業・観光の振興支援の向上を図るため、平成20年度から橋梁架替を含むバイパス整備に着手し、平成27年3月に供用を開始した。



- ◆ 事業名 : 快適で安全な道づくり事業
- ◆ 事業主体 : 栃木県
- ◆ 事業箇所 : 主要地方道宇都宮船生高徳線
日光市塩野室町しおのむろまち～塩谷町佐貫しおやまちさぬき
- ◆ 全体延長 : 1,100m
- ◆ 主要構造物 : 佐貫観音橋 L=273.0m (鋼5径間連続**ばんげた**鉄桁橋)
- ◆ 幅員 : W=10.0m (車道6.0m、歩道2.5m片側 (河川下流側))
- ◆ 総事業費 : 約16.4億円
- ◆ 事業期間 : 平成20年度～平成28年度 (供用開始:平成27年3月15日)

2. 事業の目的・必要性

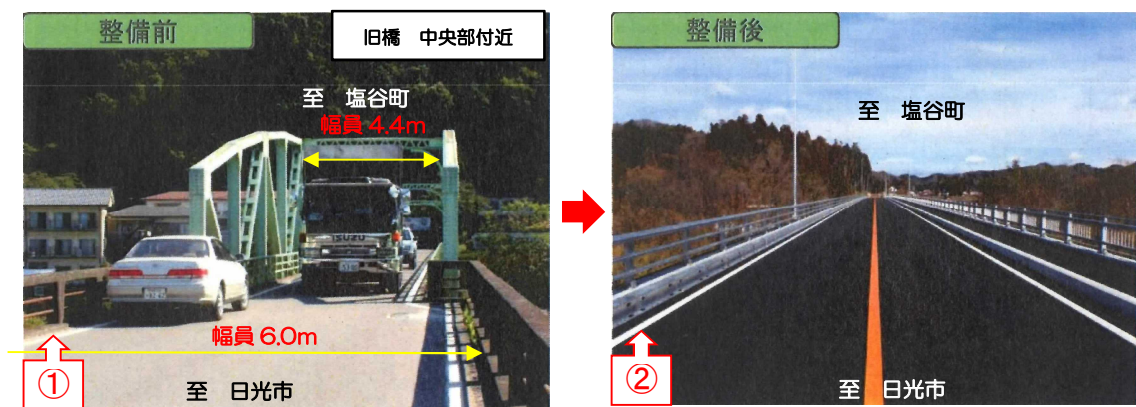
- ① 橋梁架替による安全・安心な通行の確保
- ② 地域間連携の強化
- ③ 産業・観光の振興支援

3. 事業の整備効果等

- ① 橋梁架替による安全・安心な通行の確保

次の状況から、安全・安心な通行が確保されたと考える。

- 1) 橋梁部分の幅員を確保し、橋梁上のすれ違い困難が解消された。



- 2) 新しい設計基準による橋梁架替により、プレート境界型地震や内陸直下型地震などの大地震に対しても、落橋しない構造とした。

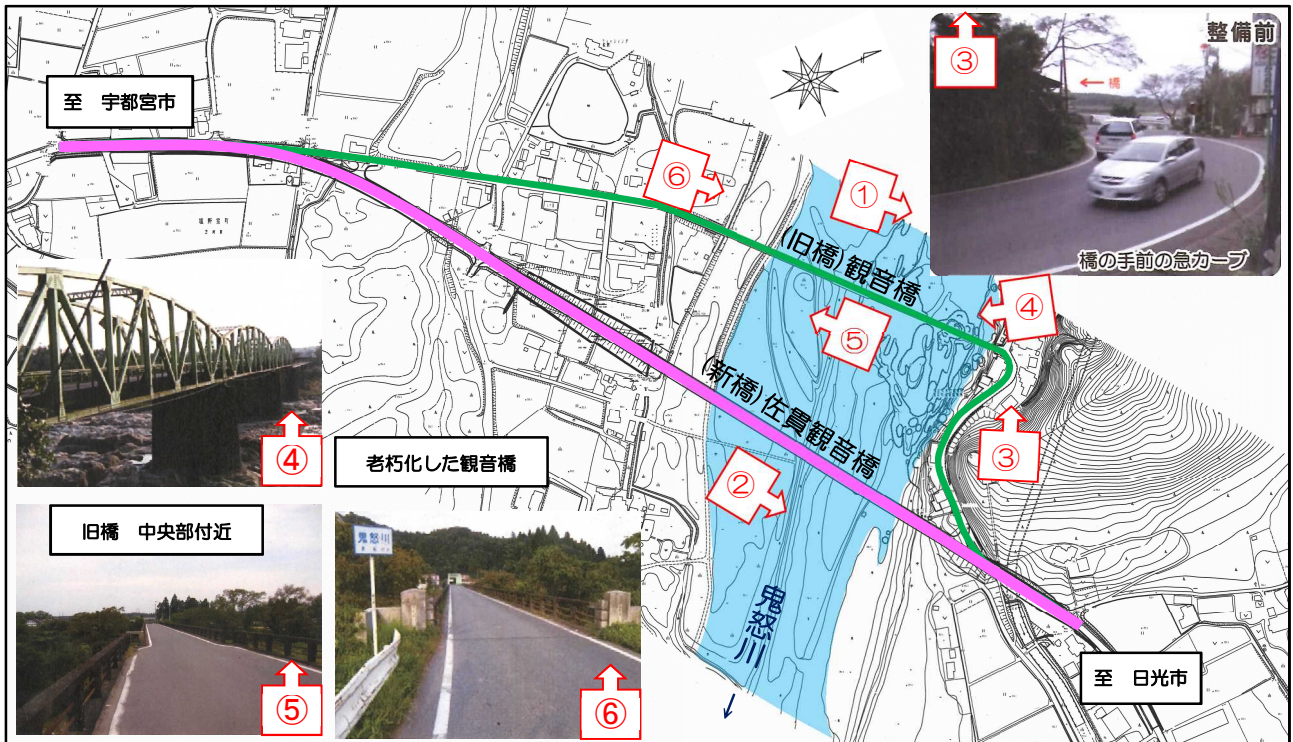
また、橋脚間隔を広くとることで、計画上の安全な河川断面を確保した。

(旧橋:最小支間長32.0m→新橋:最小支間長53.6m)

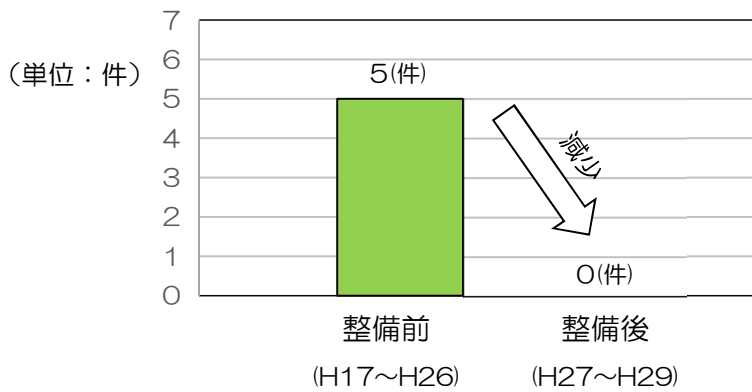
これらの事により、橋梁の信頼性、安全性が確保された。

- 3) 鬼怒川の渡河位置を変え、急カーブを解消したことにより、車両通行時の安全性、安心感が向上し、交通事故件数も減少した。
- 4) 歩道が整備されたことで、歩行者の安全性が向上した。

<平面図（新旧のルート対照図）>



<整備前後の工区内の交通事故件数の比較>

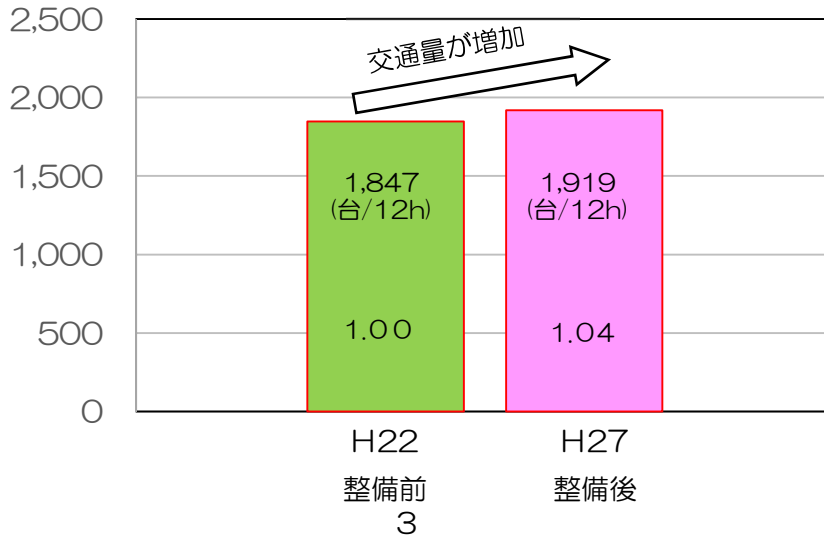


② 地域間連携の強化

橋梁や前後の道路の拡幅、急カーブの解消によって走行性が向上したことにより、交通量が増加しており、幹線道路としての地域間連携の強化が図られたと考える。

(台/12時間)

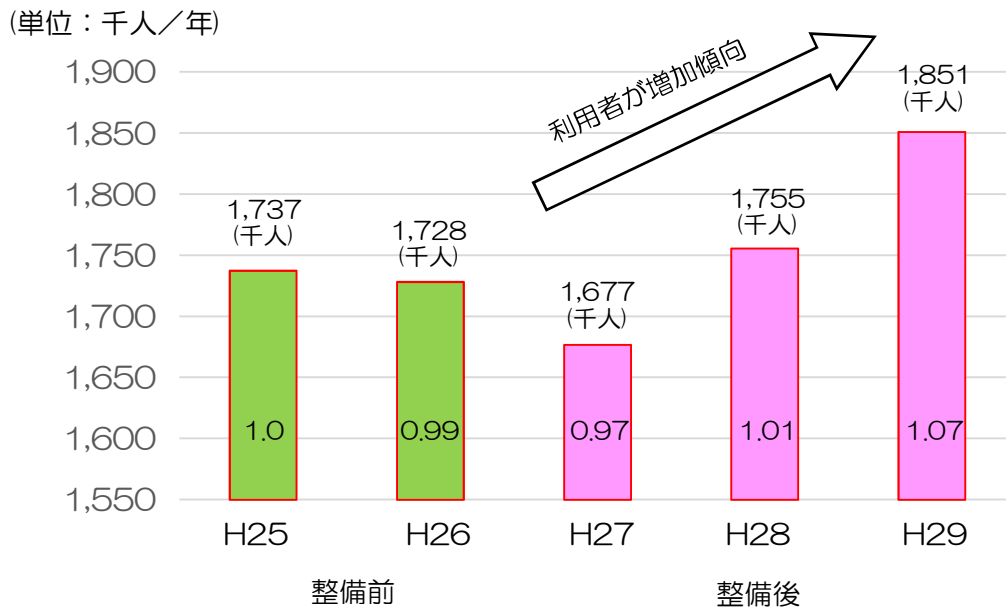
<交通量の推移状況>



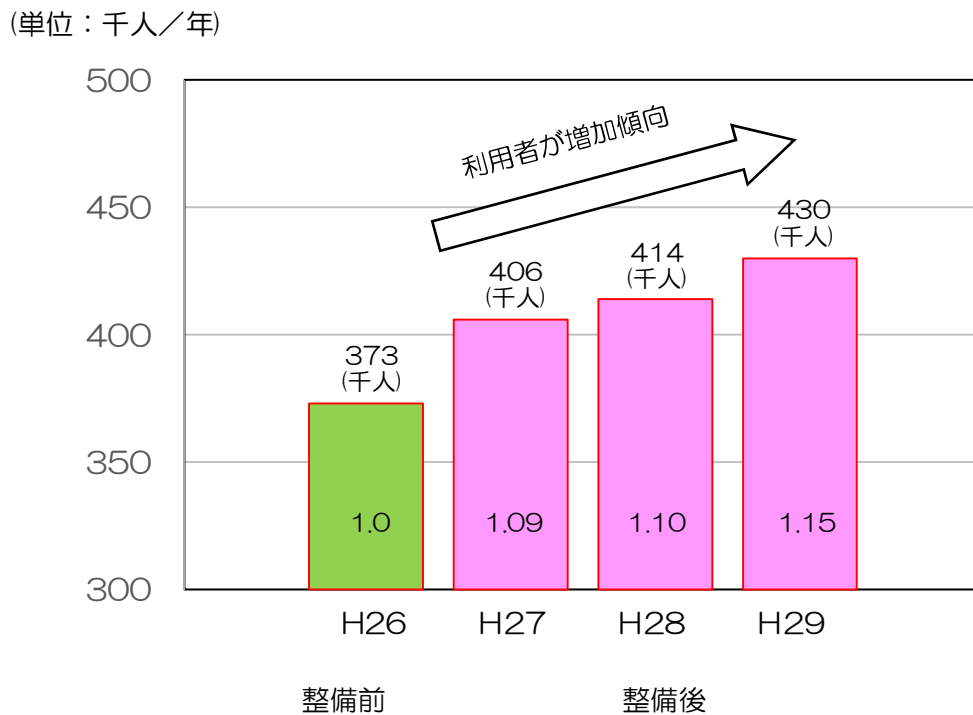
③ 産業・観光の振興支援

本工区の整備に伴い、鬼怒川・川治温泉のある藤原地区の宿泊者数や近隣の沿道施設である道の駅「湧水の郷しおや」（平成24年6月開業）等の施設利用客数の増加傾向が見られたことから、沿線の観光拠点へのアクセス向上が浸透しつつあり、産業・観光の地域振興に寄与したと考えられる。

＜藤原地区宿泊客の推移＞



＜道の駅「湧水の郷しおや」の入込客数の推移＞

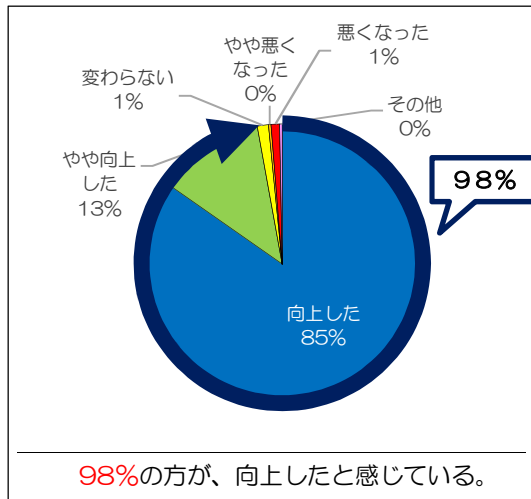


4. 地元の声・アンケート結果

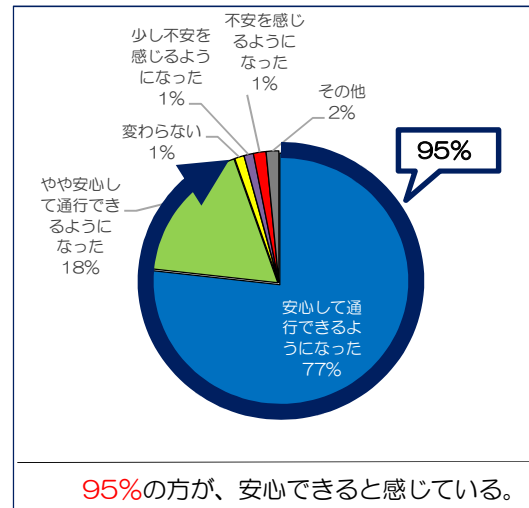
主要地方道宇都宮船生高徳線観音橋工区の整備効果を検証するため、地域住民や企業等のほか、道の駅「湧水の郷しおや」の来訪客にアンケート調査を実施した。

(回答数/配布数：178/365件 回答率 49% ※有効回答数は設問により異なる。)

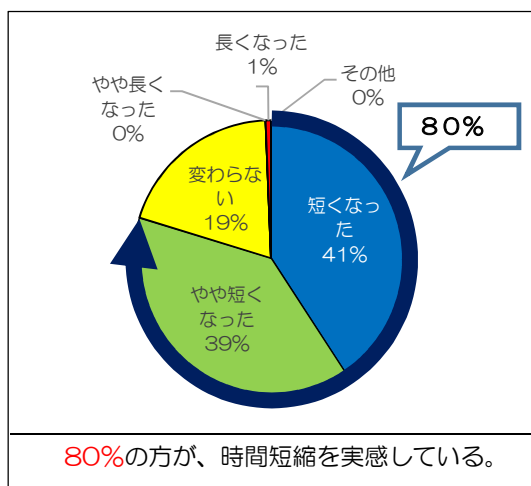
(1) 安全性の向上



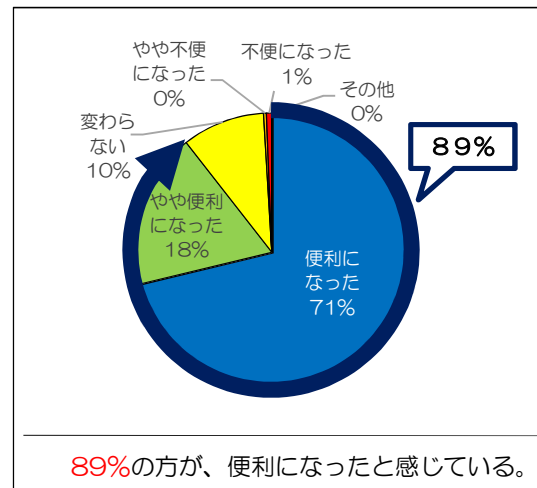
(2) 徒歩・自転車通行の安心感



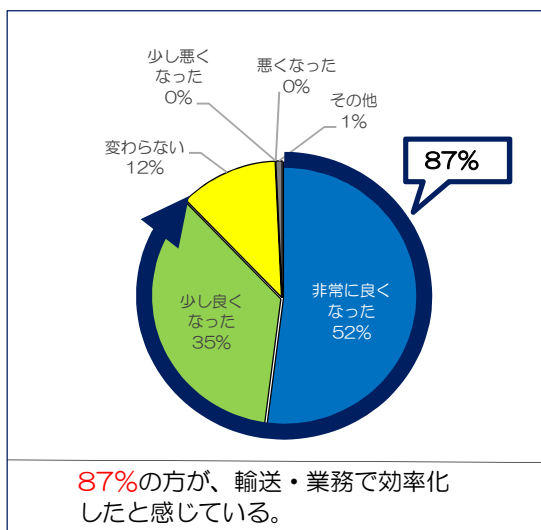
(3) 他地域への移動時間



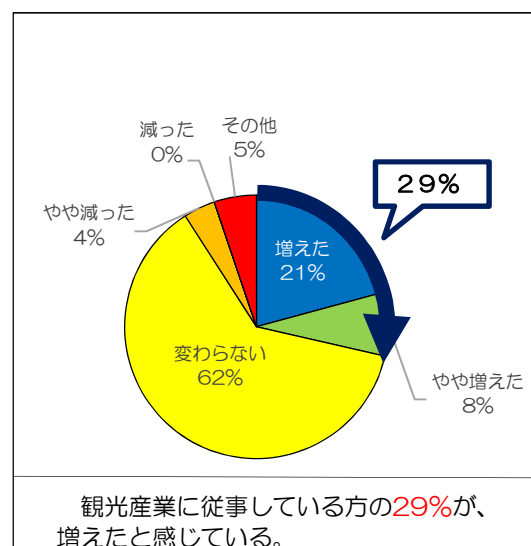
(4) 日常生活における便利さ



(5) 近隣企業等における輸送・業務の効率化



(6) 来客数の変化



③ 自由意見

- ◇ 安全・快適に通行する事が出来るようになった。
- ◇ 鬼怒川・会津方面に行くのに便利になった。
- ◇ 橋が新しくなったことで、通過待ちで対向車を意識しなくてよくなった。
- ◆ バイパス整備区間以外の前後の道路が狭いので、早く整備して欲しい。
- ◆ 景観が良いから、橋の上流側に歩道を設置して欲しかった。
- ◆ 橋が良くなったので、スピードを出す車が多くなって危険である。

5. 今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性

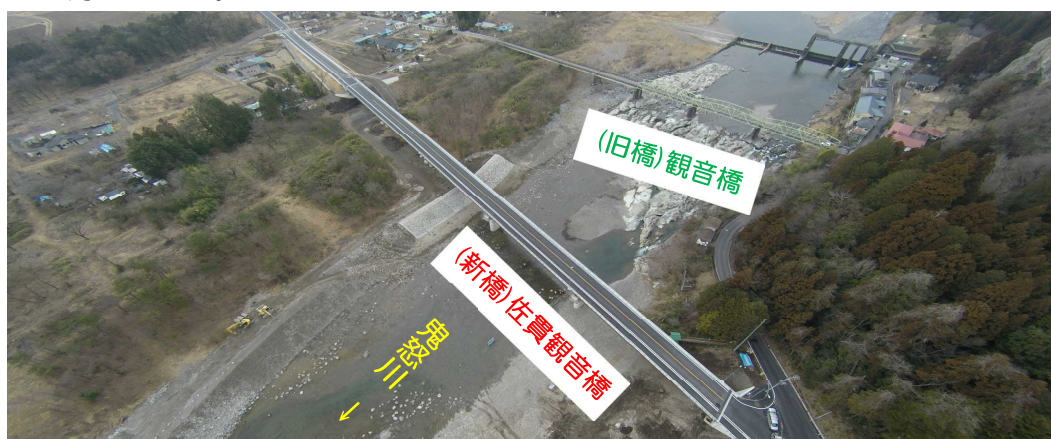
本事業については、①橋梁架替による安全・安心な通行の確保、②地域連携の強化、③産業・観光の振興支援の目的の達成が確認できたと考える。また、道路利用者のアンケート調査からも事業の目的を達成する効果を確認できたため、再度事後評価を行う必要はないものとする。

一方、アンケート調査で意見のうち「スピードを出す車が多くなって危険である」については、道路の利用状況により改善の必要性が生じた場合には、地元住民や交通管理者等の関係機関と協議し対応していく。

6. 同種事業への反映

本事業は、橋梁部のすれ違い困難の解消や橋梁の耐震性向上、河川の安全性向上、交通事故の低減、歩道の設置など十分な効果を確認することができ、アンケート調査でも事業効果への多数の肯定的な意見をいただいた。

今後も同種事業を実施する際には、地元への丁寧な説明による道路整備への理解を得ながら進めていくほか、アンケートの結果を参考に、安全性や地域特性に配慮した道路計画の策定に努めるとともに、限られた予算の中で事業を効率的に進め、事業効果を早期発現できるように努めていく。



栃木県 県土整備部 道路整備課

TEL : 028-623-2410 FAX : 028-623-2417

HP : <http://www.pref.tochigi.lg.jp/h04/index.html>

E-mail : doro-seibi@pref.tochigi.lg.jp

VERY
GOOD
LOCAL
とちぎ